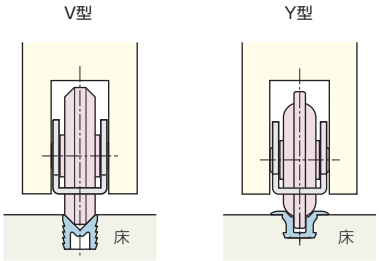
引戸金具に関するQ&A

Q1 戸車の車輪形状にはV型とY型がありますが、それぞれの特徴と、脱輪しにくい車輪形状を教えてください。

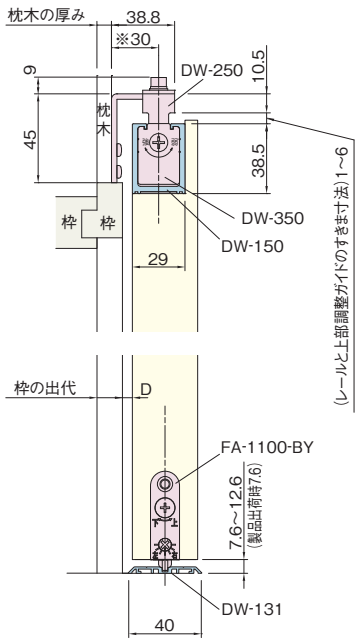


A1 戸車の車輪形状は、V型･Y型などがありますが、Y型車輪とY型レールの組合わせが、脱輪しにくい組合わせです。
Y型車輪は、車輪が外れにくいようにレールに脱輪防止溝を設けてあり、戸車もそれに対応した形状になっているためです。

V型車輪はレールに車輪が乗っているだけの状態であり、Y型車輪に比べると、横から衝撃を受けた時にレールから車輪が外れてしまいやすくなっています。

扉のサイズや使用場所などから、適切な車輪形状を選択する事で、より安全に引戸をご使用いただけます。

Q2 DW-250の設計についてですが、枠との隙間(D寸法)を大きくする事ができますか?
また、下部レール(DW-131)と下戸車(FA-1100-BY)を、152ページの使用金具例に掲載されている品番以外の商品を使用する事は可能ですか?



A2
- 枠との隙間(D寸法)を大きくする事はできます。
  DW-250の前後調整により2.5mm外側に調整する事ができます。それ以上、枠との隙間を大きくしたい場合は、納まり図の枕木の厚さを大きくしていくと、D寸法を広くする事ができます。
  また、枠との隙間(D寸法)を狭くする場合は、下部レール(DW-131)が枠に接触するので注意が必要です。

- 下部レールをDW-131以外で使用することは可能ですが、注意が必要です。
  DW-131は専用ストッパーであるDW-340を使用する事ができますが、他のレールを使用する場合は、DW-340に相当する専用部品がありませんので、代用できる戸当たりなどを用意する必要があります。
  また、下部レールの長さを、使用する戸当たりの種類、設置位置から計算する必要があります。

- FA-1100-BY以外の戸車を使用する事は可能ですが、下面付け戸車などは引戸の前後調整ができなくなります。また、V型車輪を使用する場合は、脱輪の危険性が高まります。
  (DW-250の「設計･施工ガイド」は675~676ページ)